



「既に内在する観光客」への観光情報の発信について（平成21年6月定例会）

周南コンビナートの各社には、定期的にメンテナンスが入りますが、これに関係する人々の数は一時的に数千名になるともいわれ、その時期には、市内の旅館やホテル、また近隣の民宿まで満室状況となります。

さらに、これらの企業は転勤が定期的に行われ、家族で、また単身で転入されたり転出されたりする方が毎年多数いらっしゃいます。

折角、山口県に来られたわけですから、ぜひ、大津島の回天基地を訪れながら、きれいな海で魚釣りをしたり、さわやかな秋吉台をサイクリングしたり、角島のコバルトブルーの海で海水浴を楽しんだり、県内各地で「山口県ならではの満足感」を味わっていただきたいと思います。

「既に内在する観光客」へ旬の観光情報をどのように発信し、的確に伝えるために、どのように取り組んでいこうとされているのか、お伺いいたします。

【地域振興部長答弁】

県では、「年間観光客3千万人」を目指して、県民の皆様にも県内観光地へ出かけていただく、いわば「観光の地産地消」を進めるため、本年度から、「ぐるるん！山口」県内周遊観光キャンペーンを展開し、ホームページやラジオ、また、「やまぐち旅の大見本市」などのイベントを通じて、県民の皆様にも、県内観光地の魅力や旬の情報を提供していくこととしています。また、本県の歴史や自然、食など「山口らしさ」に関心を持っていただくための取組も実施したいと考えております。

そこで、お示しのありました「既に内在する観光客」につきましても、まずは、このキャンペーンを使って、タイムリーな情報を発信してまいります。

その上で、県外からの転入者に対しましては、この度、山口県宅地建物取引業協会の協力を得て、転居先を探しに来店された際に、観光ガイドマップの提供や、県のメールマガジン「山口きらめくる」の登録案内を行うことといたしました。今後、こうした取組が、市町の住民登録窓口でも実施されるよう働きかけていくことといたしております。

また、メンテナンス等での長期滞在者に対しましては、関係の事業所や宿泊施設等の協力を得ながら、観光・物産やイベント・食の情報を提供していきたいと考えております。